

障がいを持つ方に寄り添って

さい
たま市

企業組合 ワーカーズ・コレクティブ旬
さくら草事業部



ミルサー食調理中



ミルサー食完成

中浦和の生活クラブ生協本部1階で仕出し弁当、幼稚園給食弁当を提供している「旬」は、さいたま市南区にある社会福祉法人さくら草（以下法人「さくら草」）からの委託事業として障がい者施設の昼食作りをしています。現在8名がさくら草事業部として月曜から金曜まで毎日125食の昼食を提供しています。

旬と法人「さくら草」の出会いは12年ほど前、法人「さくら草」が新施設を建てる際に、食の安全と、嚥下障害に対応できる食事の提供ができる事業者を探していたところ、設計者の方から旬を紹介されたのが始まりでした。

身体が弱い方が多いので、食材選びや衛生面で

は気を使います。ワーカーズ連合会には「共同仕入」のシステムがあり、安全性の高い食材を業務用規格で仕入れることができ、とても助かっています。衛生面については、基本的な手洗いや異物混入を防ぐことはもちろんですが、メンバーでHACCP（ハサップ～食品衛生管理手法）の講習を受け実践するなど、メンバー全員が意識して取り組んでいます。

今後もワーカーズだからこそできる食事作りで、食べる人を元気にできると嬉しいです。

根岸真澄

ワーカーズ・コレクティブ旬を選んだ理由は？

社会福祉法人 さくら草 山本理事長にお聞きしました



山本理事長

「旬」の皆さんが食の安全について深く配慮していること。利用者さん一人ひとりの食形態に対応した食事作りができること。ワーカーズ・コレクティブとして主体的に働き、経営も担っていることを高く評価しています。

わけ

「おいしい！」の理由はここにあり！

埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会「共同仕入」の仕組み

ワーカーズ・コレクティブ運動は協同組合運動から生まれています。1990年代から、生協組合員だった主婦たちが巷の外食産業の食事に疑問を抱き、安全性の高い手作りの食事を地域の人々に食べてもらいたいと食事業を行うワーカーズ・コレクティブを次々に設立しました。

ワーカーズ・コレクティブの連合組織は、生活クラブ生活協同組合の安全性の基準を満たす提携生産者の業務用食材を、協同組合と連携し仕入れています。多種類の食材を安定的に仕入れ、共同することで新しい素材の開発もできる基盤が作られています。この基盤の元、首都圏の連合組織がそれぞれの受発注と物流の仕組みを作っています。埼玉ワーカー



自慢の調味料 業務用

ズ・コレクティブ連合会が作り上げた仕組みが「共同仕入」です。

この「共同仕入」システムにより、一般では得にくい安全性の高い食材を手に入れることができます。地域で人々の健康や食べる喜びを作る食の事業所にとって、この仕入システムは要であり、ワーカーズの食事がおいしいのはこの素材の良さによるところも大きいのです。

埼玉連合会ではワーカーズ運動を理解する他の団体にも、この仕入システムに参加していただく規定を作っています。物流の課題などありますが、詳しいことは事務局までお問合せ下さい。